

# 魚津の教育

魚津市教育センターだより168号

令和4年7月 発行

魚津市教育センター

魚津市村木町1-21

〒937-0053 TEL(0765)23-9161

## 「スポーツの力」

魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 課長 やまもと こうじ 山本 浩司

### 「する」「みる」「ささえる」

『スポーツ基本法』（平成23年6月公布）の前文には、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と示されています。そして、スポーツはそれを「する」「みる」「ささえる」という様々な形での自発的な参画を通して、多くの人々が感じる「楽しさ」や「喜び」に本質をもつもので、その楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合う「スポーツ文化」の確立を目指して、様々なスポーツ施策が展開されています。

新型コロナウイルス感染拡大に伴って1年先延ばしとなって開催された『東京オリンピック・パラリンピック2020』では、全世界の多くの方々が、メダル獲得を目指して頑張る選手を、テレビやインターネットで応援し、国境や人種、言語の違いを越えて、その超越した技や力を出し切ろうとする姿に感動されたのではないのでしょうか。「練習の成果を発揮しようと懸命に競い合う選手」＝「する」、「歯を食いしばり、汗を流して頑張る選手を応援する仲間や家族、観客」＝「みる」、「その華やかな舞台に立てよう指導や支援、協力をする人々」＝「ささえる」（もちろん、相対する二者を厳格にジャッジする審判や華やかな舞台を準備するスタッフ、会場で働くボランティアなども含めて）、その場面に関わる全ての人がプレーヤーとして作り上げた最高の場面だからこそ感動を覚えたのでしょうか。



### 5つのコアバリュー

私が学生時代から関わっているラグビーには、「5つのコアバリュー＝中核」となる価値観というのがあります。5つの言葉で表され、選手、スタッフ、ファン等、ラグビーに関わる全ての人々が共有しようとする価値観であり、「全員が心をつなげて一体感を持つ＝One Team」となるための最も基本となる考え方です。ご紹介しましょう。

- 『品位 (Integrity)』 礼儀や節度、人徳、気高さに富むさま
- 『情熱 (Passion)』 関わる人々が熱い情熱を持ち世界中が熱狂し多くの感動を生む
- 『結束 (Solidarity)』 同じ時間を共有した仲間との結束
- 『規律 (Discipline)』 人としての定め、集団の秩序を含む
- 『尊重 (Respect)』 信頼する仲間や戦う相手とともに互いの健闘を讃える

この言葉を胸に、ラグビーを「する」「みる」「ささえる」みんながプレーヤーとなって感動の場面をつくり出します。

### 「つながる」「つなげる」

スポーツ基本法に基づき、総合的かつ計画的な施策の推進を図るための基本的な計画である『第3期スポーツ基本計画』（令和4年3月策定）においては、スポーツ実施率の向上、誰もがスポーツに参画し活動できる社会の実現、スポーツを通じて世界とつながること、などを目指しています。ぜひ皆さんも一人のプレーヤーとしてできることから参画し、この大きな目標の達成に関わってみてはいかがでしょうか。

スポーツは、人々に喜びと感動を与え、国境を越えて多くの人がつながり、夢中になれるコンテンツであり、幅広い世代をつなげるコミュニティ、それが、スポーツの持つ力なのです。

## 「学び、成長する1年に」

西部中学校

うしじま  
牛島

まさむね  
正宗

西部中学校に着任してから3ヶ月、時間が飛ぶように過ぎていきました。1学年の副担任をしており、授業は1学年の数学をティームティーチングで担当しています。部活動は、男女バスケットボール部の副顧問をしています。

4月は、右も左も分からない状態で不安や緊張を抱えて過ごしていました。現在は、生徒の明るい挨拶や部活動に打ち込む姿に元気をもらいつつ、忙しいながらも充実した日々を送っています。

今年度は、生徒と共に成長する1年にしたいと考えています。日々生徒の成長に負けず、前向きに挑戦することで経験を積み、積極的にコミュニケーションをとり生徒との信頼関係を築きたいと思っています。

授業では、「数学が楽しい」と言う生徒がいる一方で、「意味分かん」と言う生徒がいるなど、様々です。「正負の数」の計算では、カードを用いて数の増減を視覚化し、分かりやすくなるよう工夫しました。前向きな反応を見せてくれたときは嬉しい気持ちになります。数学の学習を通して、問題を解く達成感や学ぶ楽しさを味わってもらいたいと思っています。

部活動では、専門外の競技のためルールや練習方法等分からないことばかりですが、主顧問の先生や2・3年生の部員に聞き、学んでいます。時にはトレーニングと一緒に参加し、活動時間が残りわずかとなった3年生と共に汗を流しています。毎回の部活動を大切に、得た知識や経験を今後の部活動指導に生かしていきたいです。

初任者指導の先生をはじめ、周囲の先生方には授業や生徒指導についてご指導いただき心から感謝しています。教育のプロフェッショナルを目指し、日々生徒たちの成長に貢献できるよう努め、ひたむきに学び続ける教師でありたいです。



## 「私の目標」

東部中学校

おくさわ  
奥澤

まさしげ  
眞成

東部中学校に赴任して約2ヶ月。4月当初は生徒から“先生”と呼ばれても、すぐに自分のことだとは気付かないこともあったが、ようやくその呼ばれ方にも慣れてきた。1年の数学の授業やサッカー部の部活動指導を通して多くの生徒と接する機会が増すにつれ、それが楽しみでもあると同時に教師としての責任の重さを実感している毎日である。

私が教師を志すきっかけは、中学校3年次の数学の先生との出会いである。私は受験勉強に行きづまり成績が伸び悩んだ時期があった。先生はそんな私に気付いて声を掛けてくださり、朝や放課後等授業以外の時間をフルに使って、私に分かるまで丁寧に数学の解き方を指導して下さいました。恩師のおかげで数学という学問が好きになり、数学の教師になることができた。私も恩師のように生徒のために何ができるのかを常に考えながら、指導力のある教員になりたいと思う。

私の目標は、生徒が自分の力で問題を解決しながら自立していけるよう導くことができる教師になることである。様々な場面で話し合う機会を多くつくり、自分たちで考え、方法を見付け、行動する経験を大事にしたいと思う。授業や部活動、学校行事等の様々な体験を通して成長していく生徒の心に寄り添いながら、恩師のようにサポートできる教師になりたいと思っている。

東部中学校の先生方からは、生徒との接し方や授業についてのアドバイス、部活動や校務分掌の仕事等について丁寧に指導していただいている。その教えを生かし、生徒・保護者・先生方から信頼される教員に一日でも早くなれるよう努力していきたい。



## 「初任を駆け抜ける」

東部中学校

たにぐち みお  
谷口 美桜

東部中学校で2学年の学級担任をし、授業は2年全クラスの国語を担当しています。部活動は男女ソフトテニス部の副顧問をしています。

この1年間の私の目標は、学び続けることです。教員になるための勉強をして、ようやく教員になることができました。しかし、毎日分からないことだらけで、まだまだ勉強しなければならないと感じています。むしろ、教員になった今のほうが自分に何が足りていないかを具体的に考えることができるため、いろいろなことを勉強したい気持ちがあふれてきます。生徒たちに負けないよう、毎日学び続けていきたいです。

授業は、なかなかうまくいかないことが多いです。発問が不明瞭であったり、指示がよく通らなかったりと、何度も失敗して反省する毎日です。しかし、生徒たちはそんな授業でも一生懸命ついてきて、たくさん考えようとしてくれるため、申し訳ない気持ちになります。少しずつでも授業をよくしようと教材研究をして板書計画を立てていますが、時折、自分が本当に先生としてふさわしいのか悩んでしまいます。

5月下旬に高山遠足がありました。そこでは、生徒たちの普段とは異なる生き生きとした顔を見ることができました。特に、授業でしか関わったことのない生徒たちが「先生、ミュージアムがおもしろかったよ。」「だんごがおいしかったよ。」などと、私に親しく話しかけてくれたことが印象に残っています。つたない授業しかできていないのに、生徒はいろいろ話してみたいと思ってくれていることに気づき、先生になってよかったとうれしい気持ちになりました。

自分に足りないものは多いし悩みはつきません。しかし、生徒たちの一生懸命さや思いに報いることができるよう、学び続けることを意識して、これからの初任としての一年を駆け抜けていきたいです。そして、もっと自信をもって生徒たちと深く関わっていきたいです。



## 「先生になろうと思った動機と決意」

東部中学校

やまもと れん  
山本 練

4月に東部中学校に赴任し、1学年の学級担任と1年全クラスの社会科の授業を担当しています。部活動は男子バスケットボール部の顧問をしています。

私は、生徒に人とのつながりのすばらしさを伝えたいと思い、教師になりました。中学時代を振り返ると、日々の授業以上に、体育大会や合唱コンクール、部活動等、それらの集団で取り組んだ体験が自分を大きく成長させたように思います。もちろん楽しいことばかりではなく、仲間と喧嘩したり、悩んだりしたこともたくさんありました。ですが、それを仲間と工夫して乗り越え、一人では味わえない充実感を得ることができました。仲間や経験というものは人を変えるものだとつくづく感じています。

私は、昨年度まで町役場に勤めていました。高齢者と関わるが多かったのですが、最初は自分の言いたいことがなかなか伝わらず、どうして分かってももらえないのか悩みました。そこで、「どうしたら分かりやすく伝わるか」「どのように接したら相手が心を開いてくれるか」などと考えるようになると、少しずつ分かってもらえるようになってきました。相手の立場になることの大切さを学びました。この経験は自分の財産になっています。これからも生徒や保護者の立場になって関わっていけるような教師になりたいと考えています。

先生1年目ですが、生徒にとっての中学校での貴重な1年の学びを担っていると自覚し、毎日生徒のために、学級経営や教材研究に全力を尽くし、その中でも自らの能力を高めていきたいです。



## ■わが校の取組

# 認め励まし合いながら『主体的に』活動する生徒の育成を目指して 魚津市立西部中学校

本校の学校教育目標である「自ら考え、実践する生徒」の育成に向け、今年度は「認め励まし合いながら『主体的に』活動する生徒の育成」を重点目標とし、教職員と生徒が共に考えながら様々な取組を行っている。

### 【達成感を味わわせる場の設定】

生徒の手による生徒会活動の推進に向けて、昨年度の生徒会執行部では、学期に1回、縦割り班活動によるレクリエーションの時間が新たに企画され、学年や部活動といった普段の活動単位の垣根を越えた交流が展開された。先輩が築いた流れを受け継いだ今年度の執行部においても、生徒が前面に出る活動をさらに積極的に取り入れている。生徒会執行部からは新たな企画が次々と提案され、執行委員が企画・運営を行っている。また、Teamsによるアンケートを活用しながら、生徒たちが自らの学校生活を振り返り、意見を出すことによって、生徒会活動に主体的に関わりながら、よりよい学校生活をつくり上げようとする場の設定にも取り組んでいる。委員会活動においても、壮行会の運営や委員会活動の活性化を通して、多くの生徒が様々なことに挑戦し、成長できる機会を設定している。

中学生の段階においては近年、リーダー性をもち、その力を発揮できる生徒の減少が課題となっている。「立場がリーダー性を伸ばす」という考えを大切に、まずは一人でも多くの生徒がリーダーとしての経験を体験できる機会を設ける。そして、活動の場を多く与えることを通して、集団としての成長につなげるとともに、新たなリーダーが選ばれることで他の生徒が「自分も挑戦しよう」と考えるきっかけになることを目指している。

### 【多様性を認める力を付ける活動】

生徒指導部では、朝学活や終学活の時間を利用して、構成的グループエンカウンターを定期的に取り入れている。短時間の活動を継続して取り入れていくことで、集団への適応感が醸成され、互いを認め合い、つながりを感じられる雰囲気をつくる効果を期待している。

また、中教研特活部会員が中心となって、自分たちの問題を自分たちの力で解決することを目指す「クラス会議」を取り入れている。ポジティブな雰囲気の中、参加者が対等な立場で参加できるよさがあり、今後、活発な話し合いが各教室で展開されることを目指している。

いずれの活動も積み重ねていくことが大事であり、急速に、劇的な変化を求めるものではない。しかし「自分たちのことは自分たちで取り組む」雰囲気は、少しずつ芽生えてきている。

(文責 幾島 友也)



生徒会企画「パーセントパルーン」



生徒会説明会



「クラス会議」の様子

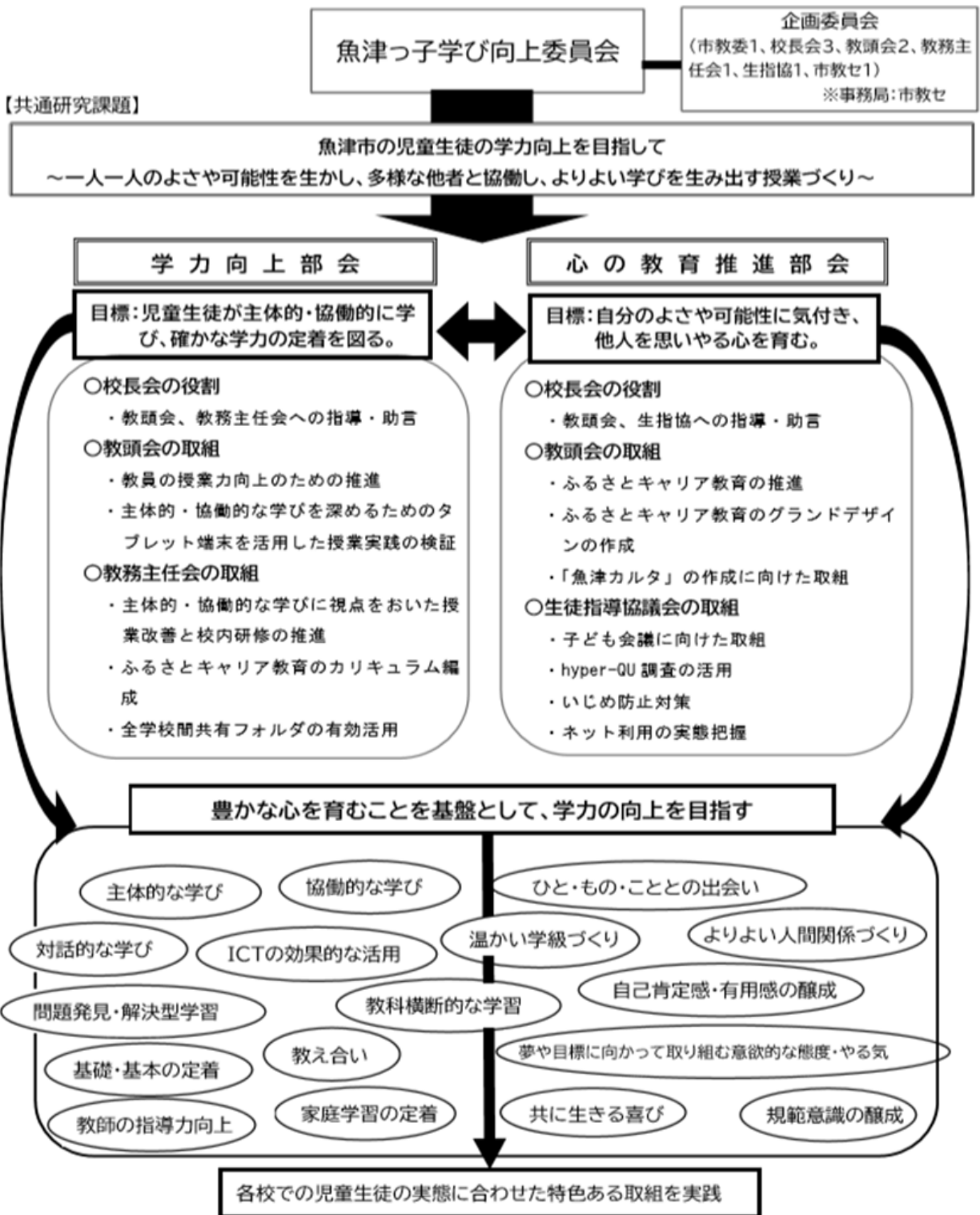
## ■「魚津っ子の学び向上委員会」の組織及び活動について

◆Q:「魚津っ子の学び向上委員会」って何？

A：魚津市教育振興基本計画に基づき、魚津市の学校教育の充実を図るために、児童生徒の「確かな学力を育む教育の推進」と「豊かな心を育む教育の推進」を重点目標とし、その取組の企画・運営及び研究推進の中心にあたる組織として、平成23年度に「魚津っ子の学び向上委員会」が設けられたんだよ。

◆Q:具体的にどんな組織が、どんな取組をしているの？

A：下の図を見てください。各組織が連携し、様々な取組を行っているんだよ。



## ■第1回 若手教員研修会

魚津市教育センターでは、今年度より初任から3年目までの教員を対象とした、若手教員研修会を開催しています。

5月31日(火)に第1回若手教員研修会を開催しました。開会の挨拶で、山瀬教育長より「子供一人一人をよく見つめ、がんばっていることやできるようになったことをしっかり伝えてあげてほしい」というお話がありました。

第1回目の研修テーマは「自己開示しよう」でした。まずは、4つのグループに分かれてそれぞれが勤務校で頑張っていることについて紹介し合いました。その中で、なかなかうまくいかないという悩みも出ました。次に、論点を絞り、「子供の認め方」について話し合いました。一人一人の子供を認めるためには、どのような方法があるかを一生懸命考え、話し合いました。「その場その場でしっかり褒めることはもちろん、責任ある役割を与えて成功体験を積ませる」、「授業中の子供の発言を教師がしっかり受け止める」などの意見も出ていました。

約2年の間、新型コロナウイルス感染防止のため、勤務校外で研修をする機会がほとんどなかった若手の先生方にとって、同じ魚津市内で子供たちのために一生懸命に仕事に励んでいる仲間と、互いの頑張りを認め合ったり、悩みを共有し合ったりできた貴重な機会となりました。



### <研修後のアンケートより(主なもの)>

#### 悩んでいることについて

- ・授業中に立ち歩く子供がいて、どのように対応したらよいか分からない。
- ・特別な配慮を要す子供への対応の仕方に困っている。
- ・登校渋りの子供にどのように接していけばよいか分からない。
- ・子供たちが主体的に学ぶことができる授業づくりをしたいが、うまくできない。
- ・些細なことに対しても保護者から連絡があり、対応に困っている。
- ・仕事の量が多くて大変である。

#### 今後受けた研修について

- ・子供のやる気を引き出す手立てについて
- ・クラス全体が活気をもって取り組めるような集団にするための手立てについて
- ・子供が意欲的に話し合うことができる授業づくりについて
- ・子供の実態に応じた個別の支援の在り方について

### <今後の若手教員研修について>

- ・第2回若手教員研修会 7月29日(金) 9:30~12:00 (市教育センター)  
「通常級における特別な支援を必要とする児童生徒への対応と保護者対応」  
講師：富山県総合教育センター 教育相談部  
客員研究主事 舘野 智子 先生
- ・第3回若手教員研修会 8月18日(木) 9:30~12:00 (市教育センター)  
「良好な人間関係を基盤とした対話的な学級集団づくり」  
講師：富山県総合教育センター 教育相談部  
研究主事 黒田 雄一郎 先生、佐藤 宏樹 先生

# 第57回 魚津市小学校体育大会

魚津市小学校体育連盟

5月17日(月)に、市内5校の5・6年生576名が桃山運動公園陸上競技場に集い、魚津市小学校体育大会を行いました。一人一人が自己ベストの記録を目指して全力で競技に取り組みました。今大会では、5年女子100m走と女子4×100mリレーで大会新記録が出るなど、好記録に恵まれました。

## ◇ 大会新記録



**女子4×100mリレー 1位 〈記録 55秒93〉**

よつば小学校 (南百佳・加藤埜乃果・北條柚月・高森なつ)

**5年女子100m走 1位 〈記録 14秒64〉**

石倉 ひなた 星の杜小学校

## ◇ 大会の記録

### 100M走<6年男子>

1位	窪田 晟洲 (星の杜)	14秒47
2位	向中野 芳成 (星の杜)	14秒71
3位	福島 彰里 (星の杜)	14秒91
4位	西尾 瑠輝空 (経田)	15秒26
5位	高瀬 陽介 (道下)	15秒34
6位	江蔵 律音 (清流)	15秒39

### 100M走<6年女子>

1位	高森 なつ (よつば)	14秒72
2位	加藤 埜乃果 (よつば)	14秒97
3位	南 百佳 (よつば)	15秒59
4位	北條 柚月 (よつば)	15秒89
5位	大崎 萌愛 (道下)	15秒92
6位	西尾 実音 (清流)	15秒95

### 100M走<5年男子>

1位	五十嵐 健人 (よつば)	15秒25
2位	松見 大樹 (道下)	15秒55
3位	國田 渚 (よつば)	15秒77
4位	横田 理麒 (清流)	15秒80
5位	藤井 悠樹 (道下)	15秒95
6位	伊多 悠貴 (道下)	16秒05

### 100M走<5年女子>

1位	石倉 ひなた (星の杜)	14秒64
2位	谷島 新菜 (道下)	15秒74
3位	折川 みな実 (星の杜)	15秒97
4位	松島 羽那 (清流)	16秒04
5位	大崎 えな (道下)	15秒92
6位	柳原 詩音梨 (清流)	16秒19

### 55Mハードル走<6年男子>

1位	西尾 瑠輝空 (経田)	9秒72
2位	中村 咲琉 (清流)	9秒82
3位	佐々木 蓮生 (道下)	9秒92
4位	福島 彰里 (星の杜)	9秒94
5位	窪田 晟洲 (星の杜)	10秒04
6位	籠瀬 光芽 (道下)	10秒05

### 55Mハードル走<6年女子>

1位	大崎 萌愛 (道下)	10秒01
2位	高森 なつ (よつば)	10秒11
3位	加藤 埜乃果 (よつば)	10秒40
4位	西野 晴香 (清流)	10秒54
5位	川越 陽菜子 (よつば)	10秒61
6位	南 百佳 (よつば)	10秒63

### 50Mハードル走<5年男子>

1位	藤井 悠樹 (道下)	10秒04
2位	高塚 琉生 (星の杜)	10秒15
3位	辻口 緒斗 (よつば)	10秒16
4位	政二 隆晟 (道下)	10秒32
4位	向井 嘉人 (星の杜)	10秒32
6位	横田 理麒 (清流)	10秒33

### 50Mハードル走<5年女子>

1位	松島 羽那 (清流)	10秒13
2位	谷島 新菜 (道下)	10秒56
3位	中野 結陽 (道下)	10秒64
4位	大森 莉良 (経田)	10秒71
5位	吉村 悠菜 (よつば)	10秒76
6位	大坪 千紗 (清流)	10秒77

### 4×100Mリレー<男子>

1位	星の杜	56秒49
2位	よつば	58秒29
3位	道下	58秒72
4位	清流	58秒87
5位	経田	61秒32

### 4×100Mリレー<女子>

1位	よつば	55秒93
2位	星の杜	60秒56
3位	清流	61秒21
4位	道下	61秒60
5位	経田	64秒22



# 令和4年度 新川地区総合選手権大会

6月12日(土)・13日(日)に、新川地区中学校総合選手権大会が、各競技専門部で決めたコロナ対策に基づいて、制限付きながらも観客を入れて行われました。県選手権大会、北信越大会、そして全国大会を目指して、真剣に取り組んでいました。

## ◇ 大会新記録

水泳競技 男子50M自由形 1位 〈記録 25秒36〉  
吉村 清人 西部中学校

## ◇ 大会の記録 (1～3位まで) ※標準記録突破は標準

### 陸上競技

1年男子100M走	1位 石崎 光流(東部) 12秒98
	3位 畠山 晴(東部) 13秒39
共通男子1500M走	1位 高森 はる(西部) 4分18秒41
	3位 村瀬 悠人(西部) 4分28秒98
1年男子1500M走	3位 浦辺 慶志(東部) 5分03秒18
共通男子3000M走	1位 高森 はる(西部) 9分17秒46
共通男子110MH	2位 岡本 駿貴(西部) 17秒21
<b>1年男子</b>	<b>1位 東部</b> 52秒88
<b>4×100Mリレー</b>	(畠山、林、杉原、石崎)
共通男子走高跳	2位 高森 快吏(東部) 1m50
共通男子走幅跳	2位 岡本 駿貴(西部) 5m90
1年男子走幅跳	2位 林 基成(東部) 4m45
共通男子砲丸投	1位 籠瀬 柊音(東部) 10m15
3年女子100M走	2位 本田 緋七鶴(東部) 13秒82
<b>1年女子</b>	<b>2位 西部</b> 59秒07
<b>4×100Mリレー</b>	(福島、竹、布施、三橋)
共通女子走高跳	2位 山本 なるみ(西部) 1m30
共通女子砲丸投	3位 山本 なるみ(西部) 8m06

以上県選出場



### 水泳競技

<b>男子団体</b>	<b>1位 西部</b> 57点
男子50M自由形	1位 吉村 清人(西部) 25秒36 大会新標準
男子100M自由形	1位 吉村 清人(西部) 56秒35標準
男子100M背泳ぎ	1位 井田 奏輔(西部) 1分55秒35
男子100M平泳ぎ	1位 米田 幸永(東部) 1分46秒20
	3位 山本 眞之介(西部) 2分02秒82
男子200M平泳ぎ	1位 堀地 海彩己(西部) 4分30秒06
<b>男子400M</b>	<b>1位 西部</b> 6分27秒71
<b>メドレーリレー</b>	(堀地、山本、吉村、宮野)
	<b>1位 西部</b> 5分42秒84
	(吉村、宮野、山本、堀地)
<b>男子400Mリレー</b>	
<b>女子団体</b>	<b>1位 東部</b> 50点
	<b>3位 西部</b> 26点
女子50M自由形	3位 稗島 悠來(西部) 30秒82標準
女子100M自由形	3位 貫和 楓(西部) 1分15秒67
女子400M自由形	2位 稗島 悠來(西部) 4分59秒63標準
女子100M背泳ぎ	1位 西塔 柚琶(東部) 1分12秒43標準
	3位 貫和 樹(西部) 1分23秒73標準
女子200M背泳ぎ	1位 西塔 柚琶(東部) 2分35秒33標準
女子100M平泳ぎ	1位 貫和 樹(西部) 1分34秒89標準
女子100Mバタフライ	2位 伊原 蘭奈(東部) 1分11秒77標準
女子200m個人メドレー	1位 伊原 蘭奈(東部) 2分41秒33標準
	2位 貫和 楓(西部) 3分09秒41標準
<b>女子400M</b>	<b>1位 西部</b> 6分44秒50
<b>メドレーリレー</b>	(貫和樹、稗島、貫和楓、古金)
<b>女子400Mリレー</b>	<b>1位 西部</b> 5分46秒45
	(古金、貫和楓、稗島、貫和樹)



◇ 大会の記録（1～3位まで）※県選手権大会出場は県選

ソフトボール

1位 東部 県選  
3位 西部

剣道

男子団体 1位 東部 県選  
3位 西部 県選

個人 1位 八田 健太郎(東部)  
3位 白川 諒志郎(東部)

卓球

男子団体 1位 東部 県選  
個人 1位 尾崎 永和(西部)  
2位 濱多 佑杜(西部)

女子団体 3位 西部 県選  
個人 2位 森網 ちひろ(東部)

バレーボール

女子 2位 西部 県選  
男子 3位 東部 県選

バスケットボール

女子 2位 東部 県選  
3位 西部 県選  
男子 3位 東部 県選

サッカー

2位 西部 県選

ソフトテニス

女子団体 3位 西部 県選

バドミントン

男子団体 3位 西部 県選  
個人 3位 村瀬 巧馬(西部)  
女子団体 3位 西部 県選  
個人 3位 高井 夕奈(西部)

柔道

個人50kg級 3位 石崎 理玖(東部)



## ◇新川地区大会を終えて〈バスケットボール競技〉

いけ だ しん  
池 田 心 東部中学校 3年

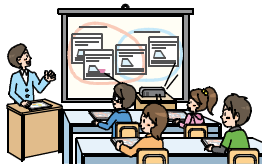


**声** 私たち東中女子バスケットボール部は、「新川地区大会優勝」という目標のもと、部員一丸となって毎日の練習に取り組んできました。しかし、新人戦では2回戦負けという予想もしない結果に終わりました。悔しい思いを晴らそうと、苦手なディフェンス練習やランチメニュー(注 走り込みのこと)などにも全力で取り組んできました。時には、練習の方法や取り組み方から部員同士で言い合いになったり、目標を見失いかけてたりすることもありました。特に練習試合では、自分たちの思うようなプレーができず、部員同士強く当たり、チームの雰囲気が悪くなってしまいました。

しかし、「やれることは全てやろう」「楽しんでやろう」と声を掛け合いながら練習や相手チームの対策を行ってきました。必死に取り組んだ結果、県選出場を決めました。その瞬間、部員全員の笑顔があふれました。決勝では負け、2位となりました。目標としていた優勝には届かなかったけれど、県選でも、仲間を信じ、励まし合いながら、自分たちの力を出し尽くしたいと思います。

## ■魚津市教育センターからのお知らせ

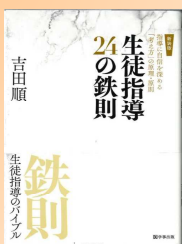
- 「移動スクリーン100インチ」「マイク付拡声器スピーカー」が市教育センターに入りました。授業、行事、集会等に活用してください。その他、ICT機器を始め、令和3年度までの魚津市・黒部市・入善町・朝日町の小中学校の学習指導案など、日頃の教育指導のヒントになる資料、教材があります。ぜひご活用ください。



魚津市教育センターHP (<http://www.uozu-c.tym.ed.jp>)

### □生徒指導の本

「新版 生徒指導の24の鉄則」  
吉田 順 著 学事出版刊



1970年代後半から全国各地の中学・高校で「校内暴力」が頻発する。80年9月の三重県尾鷲中の中学生十数人が対教師暴力により補導されるというNHKの全国ニュースに

よって「荒れる生徒」の存在が認知される。直後に「校内暴力」をテーマにした「3年B組金八先生」第2シリーズが放送され、反響を呼ぶ。例にもれず富山県でも器物損壊、対教師暴力が少なからず見られた。その後、一旦沈静化したように見えたものの「学級崩壊」、「いじめ」と「荒れ」は形を変え、今も続いている。

本書は長年生徒の「荒れ」と対峙してきた著者が「生徒指導はこうあるべきだ」という「鉄則」をまとめたものである。2000年に初版が刊行されたが、内容は全く古びてはいない。むしろ「校内暴力」を目の当たりにした教師が学校から去って久しい今こそ、各学校で誰もができる「考え方」を学び、生徒指導体制を構築していくべきである。

併せて、著者が共著者となっている「『違い』がわかる生徒指導」(学事出版)は、問題行動の事例に役職ごとの関わり方を示してあるので、わかりやすく読める。

### □道徳の本

「小学校 道徳指導スキル大全」  
永田 繁雄 編著 明治図書刊



本書は道徳の指導技術のノウハウを紹介するとどまらず、身につけた指導技術を多くの授業場面で生かせるような指導スキルの習得を目的としたものである。

以前、様々な意見が出て温かな雰囲気で行っていた授業中に「熱盛～」と叫び、担任を激怒させたことがあったが、そんな「不適切な発言」にも「対応できるスキル」など、70の指導スキルが挙げられている。小学校対象で書かれてあるが、中学校の授業の指導スキルとしても十分役立つと思う。

また、道徳の授業をするにあたって、悩ましいことの一つに、子供の心に響く教材をいかに選ぶかがある。そこで、「とっておきの『ニュースde道徳』」(佐藤幸司 著 日本標準 刊)を紹介したい。

本書は、読売新聞連載の「ニュースde道徳」から厳選した25本の教材に、指導展開例と教材文を載せたものである。【内容項目】【指導目標】に加えて、【準備するもの】まで載せられてあるので、すぐに授業に使える。何より、旬な話題に子供たちの道徳の授業への関心、意欲が高まるに違いない。